

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公表番号】特表2007-504269(P2007-504269A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-526186(P2006-526186)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
C 0 7 D	471/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/4745	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/02	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 K	39/00	Z
C 0 7 D	471/04	1 0 5 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月3日(2007.9.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

CD5⁺B細胞リンパ腫細胞の少なくとも1つの細胞表面分子の発現を増加する方法であって、前記CD5⁺B細胞リンパ腫細胞を、前記CD5⁺B細胞リンパ腫細胞の少なくとも1つの細胞表面分子の発現を増加するのに有効な少なくとも1つのIRM化合物と接触させることを含む、前記方法。

【請求項2】

CD5⁺B細胞リンパ腫に罹患している対象において自己T細胞によるCD5⁺B細胞リンパ腫細胞の死滅を増進させるための、IRM化合物を含む医薬組成物であって、ここで、CD5⁺B細胞リンパ腫細胞を有する前記対象に、治療的有効量の前記医薬組成物が投与される、前記医薬組成物。

【請求項3】

CD5⁺B細胞リンパ腫に罹患している対象を治療するための、IRM化合物を含む医薬組成物であって、ここで、前記対象に、前記CD5⁺B細胞リンパ腫細胞の少なくとも1つの細胞表面分子の発現を増加するのに有効な量の前記組成物が投与される、前記医薬組成物。

【請求項 4】

C D 5⁺ B 細胞リンパ腫を治療するための、I R M 化合物を含む医薬組成物であって、前記 C D 5⁺ B 細胞リンパ腫に特有の少なくとも 1 つの症状または臨床徴候を寛解させるのに有効な量の前記組成物が、かかる治療を必要としている対象に投与される、前記医薬組成物。

【請求項 5】

単離された C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞またはその免疫学的に活性な部分を含むワクチンであって、ここで、単離された C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞が、前記 C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞の細胞表面上の少なくとも 1 つの共刺激分子の発現を増加するのに有効な I R M に接触している、前記ワクチン。

【請求項 6】

単離された C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞の免疫学的に活性な部分を含む医薬組成物であって、ここで、単離された C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞は、前記 C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞の細胞表面上の少なくとも 1 つの共刺激分子の発現を増加するのに有効な I R M 化合物に接触し、そして前記 C D 5⁺ B 細胞リンパ腫細胞の免疫学的に活性な部分がかかる治療を必要とする対象に投与される、前記医薬組成物。

【請求項 7】

対象において C D 5⁺ B 細胞リンパ腫を治療するための、有効量の I R M 化合物を含む医薬組成物。